

周辺に休耕地がある場合はイノシシ被害に注意！

福島県農業総合センター企画経営部 企画技術科

1 部門名

その他ーその他ーその他

2 担当者

木幡栄子

3 要旨

イノシシの好適生息地の特徴を把握するため、イノシシの行動と休息地周辺環境、被害農地の特徴を調査した結果、①林縁から休耕地が続いている作付農地、②林縁から離れた農地であっても管理されていない休耕地が周辺に存在する作付農地では、イノシシ被害が発生する可能性が高まる。

(1) 郡山市I地区で8月中旬以降集中してイノシシによる被害を受けたエリアでは、林縁から30m程度離れている水田であっても被害の発生を確認した(図1)。このエリアは水田に電気柵設置されていたが、管理不足(電圧不足、ワイヤーが高すぎる、雑草からの漏電)であった。

(2) 被害地付近は林縁に接した休耕地が存在し(写真1)、林縁に接している休耕地と侵入した水田を潜み場所にして隣接する水田に侵入し、食害等の被害が発生させていると考えられる(図1)。

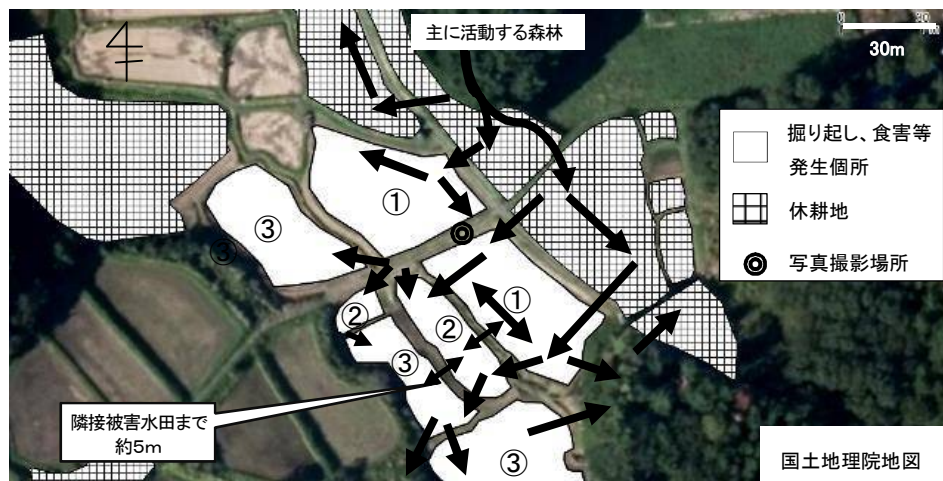


図1 郡山市I地区の農地利用状況とイノシシ被害の推移(2015年)

電子国土航空写真に情報追記して記載

図中①～③は被害発生を確認したほ場の順番(足跡等より推定)、→印は確認できたイノシシの侵入方向

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成25年度～29年度
- (2) 研究課題名 「イノシシ被害に負けない農村づくり」技術確立実証事業
- (3) 参考となる成果の区分 (指導参考)



写真1 被害水田周辺の様子

図1の写真撮影場所から南東側に向かって撮影
右側水田は水稻踏み倒し被害が発生

5 主な参考文献・資料

- (1) 農林水産省生産局 改訂版野生鳥獣被害防止マニュアル イノシシ・シカ・サル 実践編